

平成 29 年度 事業状況報告

〔自然環境保全活動等事業（公 1 事業）〕

〔 予 算 53,898 千円 〕
〔 決 算 53,148 千円 〕

公益財団法人大阪みどりのトラスト協会の設立目的である「府民の参画や協働による自然環境の保全運動」を推進するため、以下に重点を置いて取り組みました。

- 自然環境の保全活動については、法的指定根拠をもつ三草山ゼフィルスの森、地黄湿地（能勢町）及び和泉葛城山ブナ林（岸和田・貝塚市）の 3 保全地について、保全再生 3 ヶ年事業の最終年の課題に取り組みました。
- 3 ヶ年の取り組みについては、専門性、作業の安全性等を考慮して、一部外部委託し、ボランティア活動として実施可能なものについては、企業等の CSR 活動も取り入れた活動としました。保全再生 3 か年事業の成果については、後述しますが、平成 30 年度にモニタリングを行い成果と課題を明確化し、今後のボランティアとの保全活動に繋がります。
- これ以外の保全活動については、活動の一部支援制度の活用や里山の保全活動として土地所有者や地元ボランティアとの連携により、林野庁の交付金事業、大阪さとり事業を実施するなど、自立的な保全活動の推進に取り組みました。
- 企業等による CSR 活動や学校、各種団体などとの森林・環境の体験学習等を通じて、保全活動実施団体との連携ネットワークの構築に努めました。
- 保全活動を担う「みどりすと」の育成やスキルアップのため、上記 3 保全地をベースとした人材育成のための講座「森人塾」（教養講座からボランティア育成のための講座に脱皮しつつ）を引き続き開講し、新規参入者の開拓に取り組みました。
- 公 1 事業の取り組みを含め、常日頃気付くことが少ない自然からの恩恵や生物多様性を広く府民に知っていただくため、新たな切り口の普及啓発事業として、実験的に「自然の恵みツアー」を開設しました。

以上、府域の自然環境について、大阪版レッドリスト（H26 改訂）の現状を踏まえ、生物多様性の保全を共通の目的として、実践的に取り組みました。

1. 自然環境保全活動

1) 和泉葛城山ブナ林保全再生事業；

金剛生駒紀泉国定公園特別保護地区にも指定されている和泉葛城山ブナ林の天然記念物の指定区域（コアゾーン）は 10ha 程度で、樹林の安定な生育区

域として狭小であることから、大阪府が国定公園指定時に緩衝樹林帯（バッファゾーン 47ha）として周辺用地を取得し、ブナの増殖活動が続けられてきました。

平成 27 年度、「和泉葛城山ブナ林保護増殖検討委員会」（会長代行；三重県立総合博物館特別顧問 布谷 知夫）において、増殖地のブナの生育環境を改善するための 3 ヶ年計画を策定し、これに基づき本年度、最終年度の事業を実施しました。

〔3 か年計画と実施状況〕

工 種	実 績 数 量				計 画	備 考
	H27	H28	H29	3 ヶ年計		
刈り払	0.25	0	0	0.25ha	6.0ha	林床の清掃を含む
除 伐	1.93	0.79	0	2.72ha	6.0ha	ブナの密度調整を含む
周辺木の受光伐	0.16	0.93	0	1.09ha	3.0ha	
移 植	40	55	0	95 本	155 本	伐採面積 0.29ha
標識類補修			1 式	1 式	1 式	不法投棄防止

実施状況は、下記の通り。

- 1) 増殖地のブナの生育環境改善のため、刈払いや除伐、受光伐を実施（H27.28 年度）しました。
- 2) 平成 7 年度植栽の裏日本型ブナ（通称、新潟ブナ）を伐採（H27～29 年度）し、被圧されたブナの移植（H27.28 年度）を行いました。
- 3) 増殖地に投棄された産廃を含むゴミの撤去処分を行うとともに、不法投棄防止の看板を設置しました。

（参 考）

地球温暖化の影響などもあり、コアゾーンに自生するブナの成立本数は下表のとおり、減少傾向にあるとともに、健全な種子の確保が難しくなっています。

西暦年	胸高直径	ゾーン区分		
		コ ア	(参考)バッファー	
1990 年	30cm 以上	2 7 9	1 8	バッファー 部分調査 33ha
	30cm 以下	4 3 0	3 0 8	
	計	7 0 9	3 2 6	
2013 年	30cm 以上	1 9 4	1 8	バッファー 全体調査 47ha
	30cm 以下	2 7 1	2 4 6	
	計	4 6 5	2 6 4	

※コアゾーン成立本数；この 20 数年で大径木が 70%、小径木で 63%に減少

(平成 29 年度の主な事業内容)

○3ヶ年事業計画〔バッファゾーンでの増殖地の生育環境改善〕に基づく事業の実施

- ・小面積皆伐（新潟ブナ植栽地） 0.09ha
- ・防野兔柵補修 1式

○その他

- ・増殖地への不法投棄物の撤去 1式
- ・環境データ集積資材設置 1式



〔新潟ブナの伐採とブナ移植状況〕



〔環境データ集積資材設置〕

○ブナ林関連調査；

- ・ブナ林の植生調査 大阪府立大学との共同研究

○増殖活動継続のための苗木の確保と養生

コアゾーンで採取した種から苗木を育成し養生を継続

H29年度末現在 21本養生中

○普及啓発とボランティア活動参加呼びかけのための観察会、ハイキング実施

- ・春のブナ林ハイク（観察会）

5月28日（日）参加12名

- ・秋のブナ林ハイク（観察会）

11月23日（祝）台風被害のため中止

- ・ブナ林の保全に即した順応的管理の試行とモニタリングの実施

・ブナ愛樹クラブ 定例活動など 全27回 参加者362名

・花芽調査 ・結実調査 ・実生苗調査（バッファゾーン）

2) 三草山ゼフィルスの森保全事業；

大阪府の緑地環境保全地域に指定されている三草山ゼフィルスの森（14.5ha）には、日本に生息するミドリシジミチョウ類（学名ゼフィルス「森の宝石」とも言われる）25種の内10種が生息し、中でもヒロオビミドリシジミは日本の分布の東限域にあり、府内では唯一の生息地です。

地元をはじめ様々な人の協働で、ゼフィルスの森と三草山の裾野に広がる棚田も含めた里地里山の一体的な保全活動が続けられています。森林の保全については、従来の鹿の食害に加えて、ナラ枯れ被害が進んでおり、「三草山ゼフィルスの森保全検討会議」（会長；大阪府立大学副学長 石井 実）での検討（11/2）を踏まえて、3か年計画の最終年度の更新事業を実施しました。

検討会議メンバー；
学識経験者・地元・行政
ボランティア・トラスト協会



〔H29 三草山保全検討会議〕

〔3か年計画と実施状況〕

工 種	実 績 数 量				計 画	備 考
	H27	H28	H29	3ヶ年計		
卵調査	1回	1回	1回	3回	3回	日本鱗翅学会等
小面積皆伐・地拵			0.95	0.95ha		当初計画；皆伐 ⇒ 択伐+皆伐
萌芽更新・(択伐)・補植	0.90	0.93		1.83ha	3.0ha	全更新面積 2.78ha
林床植生改良				1式	—	ササ刈の坪刈りや植生保全
防鹿柵設置	500	720	600	1,820m	1,500m	設置；ボランティア
ナラ枯予防対策	25	28	23	76 m ³	60 m ³	特別伐倒駆除など

実施状況は下記の通り。

- 1) 平成 26 年のナラ枯れの発生により、罹患場所で毎年伐倒駆除を実施し、その周辺で択伐的に萌芽更新を行うとともに、食餌木の補植を行った。
- 2) 最終年のみ、小面積皆伐による更新伐採を行った。前記の区域を含めた行為地の外周は防鹿柵を設置し、林床を含み柵内の植生保全を行った。
- 3) 今後、防鹿柵内の保全管理が重要となる。ゼフィルスの森を構成する高木層に加え、低木層の再生が必要となる。ゼフィルス以外の例えばヒョウモンチョウ類の食草としてスミレ類の再生も重要な課題となる。

(平成 29 年度の主な事業内容)

○管理事業

- ・ササのゼブラ型 (w=25m) 刈り払い 1.88ha
- ・防火帯刈り払い 2.20ha

○更新事業

- ・更新伐採 1.07ha
- ・防鹿柵の設置 600m (1 か所)
- ・ナラガシワ (50)、ヤマハンノキ (20)、コナラ (100) の補植 170 本
 ※植栽は、企業 CSR (3/3)、ボランティア (3/18)、NPO との協働で実施。
- ・作業路 (w=2.0m) 改良 120m



〔萌芽伐採後の森〕

〔萌芽木（前年度択伐地）とナラガシワの補植状況〕

○ゼフィルスの生息環境に適した森林の順応的管理の試行とモニタリングの実施

- ・ゼフィルスの森植生調査 大阪府立大学との共同研究
- ・能勢みどりすとクラブ

定例活動等 37回 参加者 398名

- ・ゼフィルス観察会
 6月18日（日） 参加者 31名

- ・ゼフィルスの森違法捕獲警察巡視
 6月4日（日）・5日（月）

- ・ゼフィルス類個体調査
- ・ゼフィルス類卵調査



〔8/17 共同研究；植生調査〕

- ナラガシワの苗木育成と養生 60本

- ナラ枯れ対策の実施（能勢町による実施） 23 m³

- 三草山山麓に広がる棚田の保全
活動：里地里山保全活動での
関西大学第一中学校との連携
3年生 (11/1) 各学年 260名
2年生 (5/2 雨天中止) 1年生 (3/9)



〔棚田（里地保全）の水路づくり班〕

○10月台風21号被害復旧

強風により、コナラ、クヌギなどの大径木が倒伏、幹割れなどの被害を受け、防鹿柵への掛り木が発生（総数20数本）したため復旧作業を行った。



〔台風21号被害状況〕



〔風倒木処理状況〕

3) 地黄湿地保全再生事業；

大阪府の緑地環境保全地域に指定されている地黄湿地（全17.7ha内、湿地部分約1ha）は、貧栄養の滲水湿地で、大阪府レッドリスト（2014版）において絶滅危惧種に指定されているトキソウ（絶滅危惧Ⅰ類）、サギソウ（絶滅危惧Ⅱ類）、ミズトンボ（絶滅危惧Ⅰ類↑）やアカハライモリ（準絶滅危惧種）など貴重で、多様な動植物が生息、生育しています。

近年、後背森林が放置され、植生が大きく変化したことにより、湿原へのシルト質（粘土質）の供給が減るとともに、ススキや灌木類が侵入し、陸地化が進んできました。

平成27年度、再生事業がスタートし、「地黄湿地保全再生検討会議」（会長；兵庫県立大学名誉教授 服部 保）での検討(11/2)を踏まえて、3ヶ年再生計画の最終年度の事業を行いました。

検討会議メンバー；
学識経験者・地元・行政
ボランティア・トラスト協会



〔H29 地黄湿地保全再生検討会議〕

〔3 か年計画と実施状況〕

工 種	実 績 数 量				計 画	備 考
	H27	H28	H29	3ヶ年計		
土嚢仕切り堤設置	18m	34m	16 m	68m(14ヶ所)	160m	4ヶ所/年程度 埋戻し土嚢：560袋
木本類等伐開除根	500 m ²	200 m ²	200 m ²	900 m ²	1,000 m ²	(延べ面積)
最下流部木柵堰堤	7.5m	—	—	7.5m(5ヶ所)	1基	現水路内で土嚢杭止め止水工実施
解説・禁止看板	—	—	—	未実施	4基	
人止め柵	45 m	—	72 m	117m	—	地元要望で追加実施

実施状況は、下記の通り。

1) 水環境の改善（流水の分散）；

下池：右岸に偏在した水路の埋戻しと左岸方向への水の分散により大幅改善した。

2) 植生の低径草本化への改善（湿地内のススキ及び灌木の除去）；

ススキ、灌木の刈払い、除根の実施と湿地全体に水が回ってきたことで、ススキの勢いは抑えられている。引き続き冬季作業の中心とする。

3) 光環境の改善（境界部の植生管理）；

湿地内はもとより、境界部の植生による日照の遮断を防止するため、右岸部スギ・ヒノキ林の袖部分のソヨゴ・イヌツゲの除根の継続。中高木の枝条整理継続。

4) 真砂土流入の防止とウシガエル駆除対策；

豪雨時に流入した真砂土について、可能な限り既存水路の埋め戻しに使用するとともに、ウシガエルの駆除対策についてモンドリでの捕獲の継続と駆除方法について更に研究する。

（平成 29 年度の主な事業内容）

○再生保全事業

・ススキ、湿地内小灌木の伐採、撤去等を行い、湿地特有の低径草本の順応的管理とモニタリング

・水路埋戻し、水分散のための土嚢堤の設置管理

- ・刈り払い/搬出処分 0.71ha
- ・除根 443 m²
- ・流路土嚢敷設工（流路分散） 174袋
- ・土嚢水路埋戻し 200袋
- ・人止め柵(H=1.5m)設置 72m



〔2018年3月下池上流部の状況〕



〔2018年3月下池中流部の状況〕



〔2018年3月下池下流部〕

○能勢高校とのフィールド演習カリキュラムでの協働

- ・3年生；農業科グリーンライフ授業 全7回のフィールド学習
受講生 延べ77名
- ・1年生；「農業と環境概論」
フィールド学習 56名
- ・能勢高校3年生によるトキソウ・サギソウのバイオ増殖の取り組み
- ・2017年7月4日
グローバルハイスクールで服部会長の特別講演



〔実習風景〕



〔トキソウバイオ増殖実験〕

4) 自然環境保全事業 及び 生物多様性保全事業

○自然環境保全地域の保全

大阪府自然環境保全条例に基づく自然環境保全地域に指定されている5ヵ所の社寺林については、従来、当該森林の管理者と保全契約を締結して巡視を含む維持管理への支援を行ってきましたが、近年、シカの食害や竹林の進入、ナラ枯れ被害の発生など、保護的に維持することが難しくなっており、地元やボランティア団体とも連携した保全活動が進められております。

本山寺	(高槻市 14ha;モミ・ツガ林)
美具久留御魂神社	(富田林市 2ha;シイ林)
若山神社	(島本町 1ha;シイ林)
意賀美神社	(岸和田市 1ha;コジイ林)
妙見山	(能勢町 10ha ; ブナ林)

○ その他の希少野生生物の保全活動

活動の自立化を促進しつつ、保全手法、保全情報の共有を進めるとともに、ボランティアの募集や情報発信など共通事務への支援を継続しております。

(平成 29 年度の主な事業内容)

- ・ 能勢町倉垣 (2ha ; キマダラルリツバメ)
倉垣、栗園下刈り管理 年1回 6名参加
- ・ 八尾水辺エコアップ (1ha ; ニホンバラタナゴ)
平成 26 年 12 月 2 日 八尾エコアップ・バラタナゴ移設後、
定例活動毎月第 2 水曜日 残ったタナゴのための
水管理を年 12 回、78 名参加
- ・ 信太の森惣ヶ池湿地 (3ha ; カスミサンショウウオ)
定例活動、観察会を実施 年 69 回 210 名参加
- ・ 保全活動地で順応的管理の試行とモニタリング手法による活動を実践することにより、継続的な保全活動に繋げるとともに、みどりのトラスト運動をより実践的なものとするよう努めました。



〔8/27 信太の森の湿地観察会〕

- ・活動団体への「大阪みどりのトラスト協会緑のボランティア活動支援事業要綱」による助成の選択的实施。

平成 29 年度助成団体； 能勢みどりすとクラブ
和泉葛城山ブナ愛樹クラブ
NPO 法人信太の森 FAN クラブ

5) 里山保全活動推進事業

里山の生物多様性を保全するため、みどりすとや企業による CSR 活動などと連携、協働して保全活動を行うとともに、活動地の自立化を促進するための支援を行いました。

5つの活動地の総活動回数は201回、総参加者2,161名に上ります。

- ・車作の森（茨木市 40ha）
定例活動含、観察会など 年 68 回 662 名参加
- ・いずみの森（泉佐野市 31ha）
いずみの森実行委員会 (2 回)
定例活動、CSR 活動など含む 年 35 回 667 名参加
- ・島本の森（島本町 28ha）
定例、有志活動併せ 年 68 回 477 名参加
- ・蕎原の森（貝塚市 4ha）
定例活動など 年 26 回 211 名参加
- ・堀河の森（泉南市 11ha）
定例活動 年 4 回 144 名参加

(平成 29 年度の主な事業内容)

- ・活動団体への指導と普及活動をはじめとする支援と連携を継続実施。
 - ・堀河の森； NTT ドコモ関西の寄付による CSR の継続実施
 - ・いずみの森； 国土緑化推進機構（以下「国土緑推」）助成事業の実施

- ・11/19 こどもの森づくり体験の森事業実施
国土緑推の中央事業として、泉佐野市緑の少年団の参加による体験の森づくり実施場所で、大阪府緑の少年団連盟の交流集会を実施。次年度以降も保育活動行事を継続して実施します。



〔子供の森づくり体験の森保育〕

6) 大阪さともり地域協議会事業

当協会は、平成 25 年度にスタートした林野庁の「森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業」の大阪府域での地域協議会（大阪さともり地域協議会 会長 武田 義明 神戸大学名誉教授）の事務局として、同交付金の採択から交付金の交付、事業指導までを担っています。

この事業は 5 年目に入り、平成 29 年度から制度の変更があり、交付金の一部地方自治体への肩代り（地方自治体による交付金負担案件の優先採択）と実施効果検証のためのモニタリング制度が導入されました。結果、交付金申請組織数、交付金総額とも半減しました。

- ・ 交付金申請採択団体
活動組織 37 組織
交付金 60,272 千円

- ・ 大阪さともり地域協議会
総会（5/11）
審査会 2 回（6/5・10/19）



〔10月13日 安全講習会〕

（平成 29 年度の主な事業内容等）

- ・ 森林保全活動上不可欠な、チェーンソーの安全講習を実施しました。
10月12日（木）～10月13日（金） 9名参加

7) 保全活動等普及啓発

自然環境、生物多様性の保全、里山の保全についてのトラスト協会の活動実態や保全活動への積極的な参加などを呼びかけるために、「みどりのトラスト」の誌面を充実しつつ、以下の活動を行いました。

（平成 29 年度の主な事業内容）

- ・ 保全活動での具体的な取り組み実績を総括し、活動地で共有するとともに、府民への公開により賛同の輪を広げました。
- ・ 観察会などを通じて、活動のモニタリングを継続しました。
- ・ 総回数 11 回（内 2 回雨天等で中止）、総参加者 263 名でした。

【協会主催観察会など】

	実施日	イベント名	参加者	備考
春季	5月21日(日)	タガメの田植え	38	
	5月28日(日)	和泉葛城山春季ブナ林散歩	12	
	6月18日(日)	三草山ゼフィルスの森観察会	25	ゼフィルス7種確認
	6月25日(日)	地黄湿地生きもの観察会	中止	トキソウ(下池)
夏季	7月30日(日)	地黄湿地生きもの観察会	21	サギソウ(上下池)
	8月27日(日)	信太の森惣ヶ池湿地生きもの観察会	22	
	9月24日(日)	タガメの稲刈り	40	
秋	11月23日(日)	和泉葛城山秋季ブナ林ハイク	中止	岸和田市・貝塚市協働
冬季	12月3日(日)	タガメの田作り～里の冬支度	39	
	2月25日(日)	信太の森惣ヶ池湿地生きもの観察会	42	カスミサンショウウオ卵の調査など(和泉市合同)
	3月18日(日)	三草山 里山で薪、椎茸柁木作り体験	24	
計	11回		263	

〔6/18 ゼフィルス観察会〕

この日、ヒロビミドリジミ 他7種類のゼフィルスを確認。

〔ウラジロミドリシジミ〕



〔観察用一時捕獲〕

〔7/30 地黄湿地観察会〕 サギソウの小群落



サワギキョウ (9/26)

2. ボランティアの育成と普及啓発

1) ボランティア育成

トラスト協会のボランティア組織である「みどりすと」の拡充を図るため、「森人塾」のスタイルを一新し、みどりすと養成講座として再スタートを切り2年目となりました。

(平成 29 年度の主な事業内容)

- ・森人塾の開設 ; H29 年度 ; 第 2 期 森人塾修了生 18 名
- ・この内、現在トラスト協会の会員となり、実際にみどりすととしての活動を始めているのは、6 名です。



〔フィールド実習〕



〔講座受講風景〕

2) 企業 CSR 活動支援事業

企業 CSR については、様々なスタイルで実施されてきた経緯があり、今後新たな CSR への参加を呼びかけるために、また他団体との差別化のためにも実施のスタイルを整理するとともに、トラスト協会ならではの CSR スタイルを研究します。

(平成 29 年度の主な事業内容)

- ・企業等の様々な要請に答えて、みどりのトラスト運動への参画と保全活動を支援しました。企業からの要請は様々で、保全活動に直接つながるものであれば柔軟な受け入れをしています。



〔3/3 京セラドキュメントソリューションズ(株)植樹〕



〔4/27 コンドーテック(株)道普請〕

【企業等 CSR 活動実績】

活 動 地	参 加 企 業 等	月 日	活 動 概 要
三草山ゼフィルス [®] の森	京セラ [®] キュメントリユージョンス [®] (株)	3/3	広葉樹の植栽、薪割り体験
いずみの森	JP 労組泉州北支部	4/22	間伐を含む森林管理
	コンドーテック(株)	4/27	除伐、下刈等の森林管理
	泉佐野緑の少年団活動	5/21	こどもの森管理・森林学習
	JP 労組泉州南支部	10/28	除伐、下刈等の森林管理
	鶴賀電気(株)	11/10	除伐、下刈の森林管理
	大阪府緑の少年団連盟	11/19	交流集会・森林学習
	泉佐野市青年団協議会	3/12	間伐体験、椎茸櫛木菌打ち等
和泉葛城山ブナ林	シニア自然カレッジ体験活動	11/1	間伐体験、ブナの森観察
	岸和田市老健大学	11/5	草刈り、ブナの森観察
堀河の森	(株)NTT ドコモ関西	年4回	年間を通じた森林の保全管理
計	4社7団体	14回	

3) ボランティア活動自立化支援事業

能勢町域については、2ヶ所の緑地環境保全地域と1ヶ所自然環境保全地域があることから、「能勢みどりすとクラブ」が立ち上げられ（H26）ました。この組織の自立化を支援することで、みどりすとの保全活動や環境学習を行うに当たってのモデルとします。

（平成 29 年度の主な事業内容）

- ・自然環境の保全、里山の保全、環境学習の自立的な推進が可能な団体を育成すべく検討会議の実施や活動でのコミュニケーションの充実に努めました。

4) ボランティア活動運営

ボランティア保険を基本とする活動の安全・安心確保の対策を継続しました。

- ・イベント保険加入など 2,000 名規模の加入（H29.6.1～ H30.5.31）



〔器具点検；いずみの森ボランティアの会〕



〔ライトトラップ；能勢みどりすとクラブ〕

5) 会報誌“みどりのトラスト”の発行

本年度、vol. 90 から vol. 93 の4冊（季刊）を発行しました。配布先の見直しなどにより、発行部数をこれまでより1,000部増刷して11,000部としました。更にVol. 91からは従来12ページの冊子を16ページに改め、各保全活動地の具体的な活動内容をお伝えするなど、運動の現状を知っていただくための改良を加えました。

6) “おおさか自然の恵み体験ツアー”（社会実験）

食・生活・文化など身近なもののルーツをたどるツアーを企画し、全6回で、里山・自然との繋がりを実感していただきました。各回では自然環境や里山保全活動を進めながら、自然の恵みを活かすスペシャリストを講師にお招きし、この生業が自然環境や生物多様性に与える効果についてお話いただきました。

開催日	タイトル	内 容	参加者
11/12	銀寄栗の里山へ ～栗きんとんが できるまで～	能勢発祥の栗の品種「銀寄」、その栽培にチャレンジする和菓子職人の栗畑を訪ね、栽培方法や歴史について学んだ。 〔講師：能勢町地域振興課 吉村 哲哉 ：津村屋 角村 茂〕	12名
12/3	タガメの田づくり ～里の冬支度 ～	春の田植えから秋の収穫までを体験した能勢の棚田で、自分たちが作ったもち米で餅をつくったり、稲わらでしめ縄づくりを体験した。 〔講師：公益財団法人大阪みどりのトラスト協会〕	16名
1/21	茶道の文化を支 える炭焼きの里	能勢で500年の伝統を守る、“菊炭”の炭焼き職人に台場クヌギの薪炭林や炭窯を案内してもらった。 〔講師：能勢さとやま創造館 小谷 義隆〕	24名
2/18	森と水と酒のつ ながり	地域ぐるみで里山整備が進む交野市の酒蔵を訪ね、酒づくりに欠かせない水源地の森を探索した。 〔講師：交野市山地保全会 杵井 学 ：大門酒造 大門 康剛〕	30名
3/4	木材のふるさと を訪ねる	河内長野の林業地を訪ね、山で育った木が切り出されてから、材木になるまでを案内してもらった。 〔講師：大阪府森林組合南河内支店 奥野 壽一〕	15名
3/10	イカナゴ漁と森 のつながり	岸和田漁港を訪ねてイカナゴの水揚げを見学し、豊かな海をはぐくむ里山保全について講演を聞いた。 〔講師：大阪府漁業協同組合連合会 徳永 知之 府立環境農林水産総合研究所 大美 博昭 NPO 法人 神於山保全クラブ 田口 雅士〕	22名
合 計		全6回	119名



〔1/21 茶道文化を支える～ 〕



〔3/4 木材のふるさと～ 〕

7) “森林と市民を結ぶ全国の集い in 京都”

京都府と公益社団法人国土緑化推進機構が主催した第21回「森林と市民を結ぶ全国の集い in 京都」へ実行委員会の段階から参画し、現地視察コースに「北摂コース」として参加し、下記の通りの成果を得ました。

日 時 平成29年6月10日～11日

第1日目 エクスカーション； 参加者 15名

北摂コース：豊能町牧クヌギ林～地黄湿地～能勢町中田尻「菊炭」
(全4コースの内)

第2日目 全体会議；京都府立大学（稲盛記念会館）

全 参 加 者 171名 (2日間延)



〔北摂エクスカーション実習 豊能町牧〕



〔全体会議風景〕

8) 会員の募集

当協会の自然環境、里山の保全活動や緑化関係各種イベント、会報誌等の配布を通じて会員の拡大を図りましたが、高齢会員の退会を補うことが出来ませんでした。

新規会員登録者数	個人	55人	法人	0団体
平成29年度会員数	個人	478人	法人	35団体
(参考)平成28年度会員数	個人	498人	法人	38団体

3. その他の事業

1) 御堂筋アメニティ事業

御堂筋の美化を目的に、御堂筋の緑地帯（淀屋橋～難波：約3.2キロメートル）にあるフラワーベース52基に、花卉類を植え付けて花と緑による装飾を施し、都市の緑化の推進とアメニティの向上に寄与しました。

(平成29年度の主な事業内容)



〔春季FB:アジサイ+クリスマスローズ〕

〔11/26 大阪マラソン:コスモス+クリスマスローズ〕

○花卉の植付け、維持管理

- ・花卉の植付け：本年度御堂筋開設80周年を記念して、従来、大阪マラソン開催日を中心に年1回植栽していたものを、年2回の植え替えによって通年の植栽を行うこととしました。
- ・昨年から花の期間を長く楽しめるように2段植えを行っており、春季アジサイ+クリスマスローズ、秋季コスモス+クリスマスローズが楽しめるようになりました。

灌水（含む花摘み）3回実施

4. トラストファンド

和泉葛城山ブナ林のコアゾーン(10ha:国の天然記念物)とバッファゾーン(47ha:緩衝樹林帯)を一体的に保全するための「ブナの森トラストファンド」及び三草山(能勢町)に生息するミドリシジミ類の保全のための「ゼフィルスの森トラストファンド」の確保に努めました。

○ブナの森トラストファンド		
寄付件数及び寄付金額	41 件	385,364 円
平成 29 年度末累計	3,993 件	39,950,796 円
○ゼフィルスの森トラストファンド		
寄付件数及び寄付金額	25 件	106,692 円
平成 29 年度末累計	2,110 件	21,795,014 円
トラストファンド合計		
	66 件	492,056 円
平成 29 年度末累計	6,103 件	61,745,810 円
(参考) 平成 28 年度末累計	6,037 件	81,188,154 円

〔緑の募金事業（公2事業）〕

予算：収入 21,911 千円、支出 22,754 千円
決算：収入 21,651 千円、支出 22,611 千円

「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づき、「緑の募金」の衆知を図るとともに、募金運動を積極的に展開し、市街地の緑化の推進、森林の整備、緑づくりの活動支援等に努めました。

「緑の募金」運動を、幅広い参加による府民運動として推進していくために、大阪府、府内市町村、公立私立各種学校関係、ボーイスカウト・ガールスカウト・緑の少年団などの青少年団体、経済団体、企業、市民団体などの積極的な協力を得て実施しました。

I. 募金運動

1. 緑の募金運動の推進

(1) 募金資材の整備

募金運動を実施するため、緑の羽根、募金箱、PR ポスターなどの資材を購入、また春・秋のキャンペーンバッジを、独自製作して募金実施団体に配布しました。

ア. 緑の羽根 500,000 本

イ. オリジナル募金バッジ 秋期(H29 用)：「マツボックリ」 5,000 個
春期(H30 用)：「ウメ」 17,000 個



マツボックリ



ウメ

ウ. 募金箱、タスキ、ポスター・パンフレット等

(2) 募金運動の推進

ア. キャンペーン期間

(春期) 平成29年3月1日から 5月31日まで

(秋期) 平成29年9月1日から 10月31日まで

イ. 募金の実施

街頭募金、学校募金、職場募金、家庭募金、企業募金等により行いました。

ボーイスカウト、ガールスカウト、緑の少年団などの青少年団体による街頭募金をはじめとして、企業や店舗の他、公共施設等に募金箱を設置して実施しました。

ウ. 募金運動の PR

各報道機関に「緑の募金」運動の周知・協力を要請しました。

《 街頭募金キャンペーン 》

春季	4/2 ボーイスカウト (JR 茨木駅) ほか 4/9 ガールスカウト (阪急岡町駅) ほか 4/29 緑の少年団 (南海貝塚駅) ほか
秋季	9/10 ボーイスカウト (近鉄藤井寺駅) ほか 9/11 ガールスカウト (北大阪急行千里中央駅) ほか 9/10 緑の少年団 (南海なんば駅) ほか

エ. その他、大阪府立中央図書館や三井住友信託銀行梅田支店ロビーなどでパネル等による「緑の募金」の啓発を行いました。大阪府立大学花(さくら)まつり、平林まつり、大阪自然史フェスティバルなど、生物多様性地域フォーラム、市町村やその他の行事で募金活動を行いました。



ボーイスカウト街頭募金



ガールスカウト街頭募金



大阪自然史フェスティバル



平林まつり

業界団体では、一般社団法人大阪損害保険代理業協会の総会、大阪府木材連合会の催事、大阪府農業会議の催事、府内商工会議所、大阪府漁業協同組合連合会、道の駅などに積極的に出向き緑の募金のPR及び募金活動を実施しました。



大阪府木材連合会叙勲祝賀会

2. 募金実績

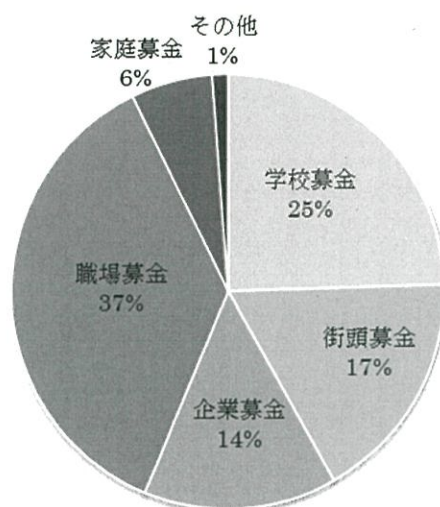
平成29年度の募金総額は、目標20百万円に対して、実績19,777,104円(979件)となりました。

平成28年度に比べ金額で721,247円の減少、件数では5件増加しました。金額では学校募金が前年度比107.4%、街頭募金が同126.8%と増加しました。一方、企業募金は同87.8%、職場募金は同94.0%、家庭募金は同70.0%と減少しました。

【平成 27～29 年度種類別募金額】

(単位：千円)

	H27	H28	H29	前年比
学校募金	4,901	4,517	4,849	107.4
街頭募金	3,246	2,691	3,412	126.8
企業募金	4,196	3,262	2,863	87.8
職場募金	5,740	7,673	7,216	94.0
家庭募金	1,591	1,710	1,197	70.0
その他	610	645	240	37.2
合計	20,284	20,498	19,777	96.5
件数	1,021	974	979	100.5



平成 29 年度 募金割合

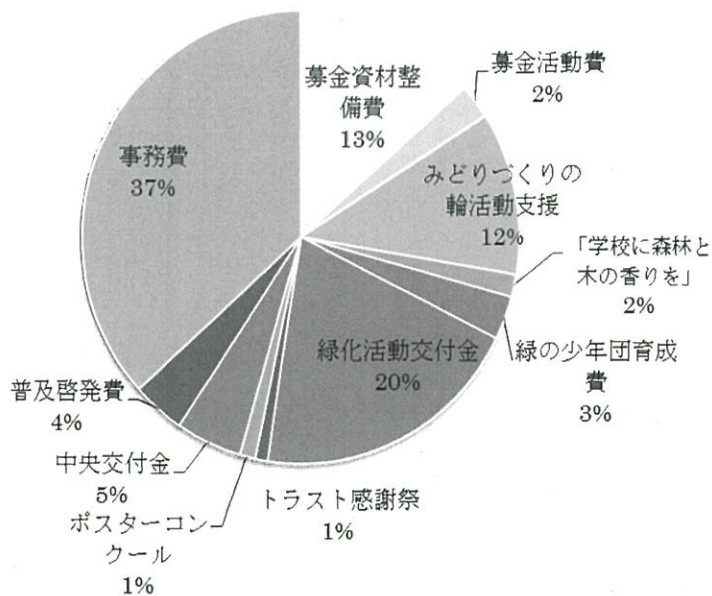
Ⅱ. 事業の実施

1. 緑の募金事業支出

平成 29 年度の事業支出総額は 22,611,154 円で、次の表・グラフのとおり事業を実施しました。

(単位:千円)

科目	金額
募金資材整備費	3,054
募金活動費	570
みどりづくりの輪活動支援	2,633
「学校に森林と木の香りを」整備事業	363
緑の少年団育成費	700
緑化活動交付金	4,545
トラスト感謝祭	208
ポスターコンクール	267
中央交付金	1,103
普及啓発費	880
事務費	8,288
合計	22,611



2. 緑化推進と森林の整備

(1) みどりづくりの輪活動支援事業 [予算：2,630 千円、決算 2,633 千円]

地球温暖化防止にかかる運動の一環として、行政、府民、NPO、企業等多様な主体が協働して植樹に取り組む堺第7-3区での『共生の森』づくり活動や、生駒山系での『花屏風』活動（8件）に対し支援を行いました。



堺第7-3区「共生の森」づくり活動



生駒山系花屏風活動

また、菊炭職人の小谷義隆氏（能勢町、森の名手名人）の指導により、地元のみどり丘幼稚園の園児による菊炭の材料となるクヌギの植樹の機会を設けました。



みどり丘幼稚園の活動

(2) 「学校に森林と木の香りを」整備事業 [予算：360 千円、決算 363 千円]

教育施設において、森林の整備、木材の利用、緑の効用について理解を深めるとともに、木の香る快適な学習環境を提供するため助成を行いました。

申請件数：2 件、採択件数：2 件

【採択先及び整備内容】

- ・大阪市立南港光小学校 : 伐倒した校庭木を活用した工作
- ・堺市立八上小学校 : 造形クラブでの木工活動支援



大阪市立南港光小学校の様子

(3) 緑の少年団の育成 [予算：700 千円、決算 700 千円]

大阪府内の「緑の少年団」の育成とその活動の充実を図るため、各地の緑の少年団が行う活動に助成しました。

- ・大阪府における緑の少年団 (平成 29 年 4 月 1 日現在)

6 団体 208 名 (団員 125 名、指導者 83 名)

- ・交流集会の開催

平成 29 年 11 月 19 日 (日) 泉佐野市稲倉青少年野外活動センター

内容：各団の活動発表、草刈り、クラフト ほか



緑の少年団 交流集会

3. 緑化の活動と普及啓発

(1) 募金団体による地域緑化の推進 [予算：4,400 千円、決算 4,545 千円]

地域や学校等の緑化を推進するため、募金額の一部を緑化推進事業等交付金として募金団体に交付し、植樹、花壇の整備、緑地の手入れ等の緑化活動を行いました。

・交付件数 565件



(2) トラスト感謝祭の開催 [予算：210 千円、決算 208 千円]

緑の募金大口募金先や緑の募金キャンペーンバッジデザイン考案者への感謝状の授与、国土緑化運動ポスターコンクール入選者の表彰、並びにポスター原画作品や当協会での保全活動の紹介パネルの展示を行いました。

日時：平成 29 年 7 月 17 日（月・祝）

場所：大阪市立自然史博物館 講堂

内容：講演「野生生物から見た大阪の自然」

（講師：石井実 大阪府立大学副学長／(公財)大阪みどりのトラスト協会会長）

交付金活用団体による活動紹介

感謝状贈呈・表彰式

パネル展示



平成 29 年度ポスターコンクール表彰



講演会

(3) 国土緑化運動・育樹運動ポスターコンクールの実施

[予算：240 千円、決算 267 千円]

児童、生徒の自然や緑への関心を高めるために、府内小・中・高等学校の協力を得て平成 30 年用ポスターコンクールを行い、優秀作品を国土緑化推進機構が行う全国コンクールに応募しました。

- ・応募者数 49 校 261 名 (参加者総数 1293 名)
- ・全国コンクールに優秀作品 14 点を中央審査会に推薦、うち 1 名が入選 (国土緑化推進機構理事長賞) (作品は別添【会報 93 号】で紹介)
- ・トラスト協会賞 13 点

ポスターコンクール審査会

日時 : 平成 29 年 10 月 6 日 (金)

場所 : ATC グリーンエコプラザ内企画展示ゾーン

審査員 : 21 世紀ディレクターズユニオン代表

林信夫

大阪府教育庁教育振興室高等学校課

高橋和彦

大阪府商工労働部

川本誓文

大阪みどりのトラスト協会常務理事・事務局長 諸岡 充



国土緑化推進機構理事長賞

大阪市立中大江小学校

西田 大悟さん (1 年)



ポスターコンクール審査会

(4) 中央交付金 [予算：1,104 千円、決算 1,103 千円]

募金中央団体である (公社) 国土緑化推進機構が行う全国規模での緑化事業に要する経費を、平成 29 年募金額の 3% + 50 万円交付しました。

(5) 普及啓発活動の実施 [予算：960 千円、決算 880 千円]

大阪府立中央図書館、同中之島図書館と連携して、パネル写真の展示を実施し、併せて講演会、クラフトなどのワークショップやボランティア団体の活動交流会を実施しました。

ア. 府立中央図書館 平成 29 年 5 月 9 日～5 月 28 日

パネル写真展 「さとやま いこまの森をまもる」

期中開催

- ・ 講演会「昆虫から見た大阪の自然」
(講師：石井実 大阪府立大学副学長)
- ・ 里山“いこま”を、まもり、つかう活動交流会
- ・ “どうぞのいす”づくり (クラフト教室)
- ・ 見て・さわって・みどりと友達になろう (ネイチャーゲームほか)

イ. 府立中之島図書館 平成 29 年 5 月 8 日～5 月 30 日

パネル写真展 「大阪の里山 いまむかし展」

ウ. 府立中央図書館 平成 30 年 2 月 27 日～3 月 11 日

パネル写真展 メルヘンりえこ 能勢のいきもの作品展

期中開催 メルヘンりえこさんによるワークショップ



府立中央図書館



府立中之島図書館



“どうぞのいす”づくり

また、指導林家の奥野壽一氏（河内長野市、森の名手名人）の仕事を通じておおさか材の利用と環境保全に関する映像を作成し、関係先に配布しました。



撮影時の様子

さらに、「緑の募金」について、当協会の会報「みどりのトラスト」に募金活動に関する記事を掲載し、普及啓発活動を行いました。

Ⅲ. 募金成果の公表

「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」第 21 条に基づき、平成 29 年度に実施した緑の募金事業結果について、当協会ホームページに掲載し、公告します。

Ⅳ. 緑化推進運営協議会の開催

緑の募金運動を展開するため、次のとおり緑化推進運営協議会を開催し、事業計画、収支予算等を審議しました。

・ 第 49 回

平成 29 年 5 月 26 日 (金) 平成 28 年度 事業報告、収支決算

・ 第 50 回

平成 30 年 2 月 22 日 (木) 平成 29 年度 補正予算
平成 30 年度 事業計画、収支予算

〔管理部門〕

1. 会議開催状況

理事会、評議員会の開催状況は以下のとおりです。

(1) 理事会

第13回理事会（平成29年6月3日）

- 第1号議案 「中期経営計画について」
- 第2号議案 「平成28年度事業報告について」
- 第3号議案 「平成28年度決算について」
- 第4号議案 「評議員会の決議の省略（文書決議）による
評議員1名・理事1名の選任について」
- 第5号議案 「第6回定時評議員会招集について」

第14回理事会（平成29年11月25日）

- 第1号議案 「嘱託職員等就業規則の改正について」
- 第2号議案 「無期転換職員就業規則の制定について」
- 第3号議案 「育児・介護休業規程の制定について」
- 第4号議案 「会員規程の改正について」

第15回理事会（平成30年3月18日）

- 第1号議案 「平成29年度補正予算について」
- 第2号議案 「平成30年度事業計画について」
- 第3号議案 「平成30年度収支予算について
設備投資及び資金調達の見込みについて」
- 第4号議案 「トラストファンドの取り崩しについて」
- 第5号議案 「常勤役員の報酬額の決定について」
- 第6号議案 「会員規程の改正について」

(2) 評議員会

決議の省略（平成29年6月20日）

- 第1号議案 「勝又 章評議員辞任に伴う後任評議員選任の件」
- 第2号議案 「藤井 英彦理事辞任に伴う後任理事選任の件」

第6回評議員会（平成29年6月27日）

報告事項 「平成28年度事業報告について」

第1号議案 「平成28年度決算について」

2. 内部管理体制の整備状況

平成29年度において下記規程を制定・改正しました。

- (1) 嘱託職員等就業規則の改正 (平成29年12月1日)
- (2) 無期転換職員就業規則の制定 (平成29年12月1日)
- (3) 育児・介護休業規程の制定 (平成29年12月1日)
- (4) 会員規程の改正（途中入会の場合の年会費の扱い等）
(平成29年12月1日)
- (5) 会員規程の改正（個人会費の額の変更）
(平成30年3月18日)

平成 29 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。